

保健だより

保健福祉課 保健係 ☎ 585-2783
E-mail:hoken@town.kunimi.fukushima.jp

*** ニコニコ相談会 ***

該当児	実施日	実施時間	会場
国見町在住の妊婦 国見町在住の乳幼児及びその保護者	6月18日(木)	午前10時～ 午前11時30分	子育て支援センター (藤田保育所内)

【実施内容】 身体計測、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしております。
【持参するもの】 母子健康手帳、お子さんの飲み物（水筒にいれて）を忘れずに！
【申し込み方法】 前日まで保健福祉課に電話でお申し込みください。

*** 乳児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
・3か月児（平成26年2月生まれ） ・9か月児（平成25年8月生まれ）	6月26日(木)	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【健診内容】 医師の指導、身体測定、調乳、離乳、予防接種などについて
9か月児は、歯科衛生士による歯に関するお話も予定しています。
【持参するもの】 母子健康手帳を忘れずに！

*** 1歳6か月児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
平成24年10月1日から 平成24年12月15日生まれの幼児	6月17日(木)	午後1時15分～ 午後1時30分	小坂農村総合管理 センター

【健診内容】 内科と歯科の医師の診察、歯科衛生士による歯みがき指導、生活保健指導、身長・体重測定を行います。
心理判定員による相談・指導・子育てに関する不安や悩み等、お気軽にご相談ください。
栄養指導（おやつを試食）もあります。健診該当者には後日健診票を郵送します。
【持参するもの】 母子健康手帳と1歳6か月児健康診査票（必要事項を記入してください）を忘れずに！

健康レシピ

3月6日と7日、脂質異常症予防教室を開催しました。
1日目は、公立藤田総合病院内科の伊藤理先生による講話、
2日目は町栄養士による調理実習を行いました。今回実習した中から「さんまの甘辛焼き」を紹介します。



「さんまの甘辛焼き」材料（4人分）

さんま	2尾
片栗粉	適宜
オリーブ油	大さじ1
万能ねぎ	適宜
しめじ	1/2袋
ブロッコリー	80g
砂糖・酒・しょうゆ	
A	各大さじ1と1/2
みりん	大さじ1
酢・豆板醤	各小さじ1

- 3枚おろしにしたさんまを3等分に切る。片栗粉を薄くつける。万能ねぎは小口切り。しめじは小房分ける。ブロッコリーは沸騰したお湯に塩をいれ茹でる。
- Aの調味料を混ぜ合わせておく。
- フライパンにオリーブ油を入れて熱し、さんまを並べ蓋をして両面を焼く。
- Aのたれを加え、さんまに絡める。残ったたれで、しめじも炒める。
- 器にさんまを盛り付け、ねぎを散らす。付け合せのしめじ、ブロッコリーを添える。

まちのわだい

大活躍！ 国見町の県選抜選手！



チームキャプテンとして健闘を誓う佐藤未来さん

2月24日、第25回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会に県ソフトテニス連盟推薦選抜選手として出場した、県北中学校2年の佐藤未来さんに、太田久雄町長（青少年育成町民会議会長）から奨励金を交付しました。

今回、福島県選抜チームキャプテンとして全国大会に出場し、団体戦で第3位に入賞する活躍でした。

あれから3年 忘れないために



黙とうをする国見小学校児童

東日本大震災から3年目を迎えた3月11日、国見小学校で全校児童に菅野校長から震災・福島第一原発事故などの話がされました。児童たちは真剣に話を聞き入り、その後東日本大震災発生時刻の2時46分に全校児童で黙とうをし、哀悼の意を表しました。

心つないで 大和田新さん講演会



復興への想いを町民一人一人に

3月21日、観月台文化センターでラジオ福島アナウンサーとして活躍中の大和田新さんの講演会が、町文化団体連絡協議会の主催で行われました。大和田さんは、東日本大震災後に浜通りや仮設住宅の取材をしたエピソードを中心に講演されました。訪れた聴衆は、震災や原発事故の記憶を風化させてはならないと、復興への想いを新たにしました。

消防小型動力ポンプ付 軽積載車など無償貸与



太田久雄町長から鈴木耕治団長へ目録の贈呈

3月23日、消防小型動力ポンプ付軽積載車と消防資機材の交付式が行われました。交付式では、太田久雄町長から鈴木耕治消防団長に目録が交付され、鈴木消防団長は町民の安全安心を守るためにと決意を新たにしていました。交付された積載車と資機材は総務省消防庁から無償貸与を受けたもので、町の消防力の強化につながるものと期待されます。

桜の名所をめざし 心を込めて



内谷桐目木共同山組合の皆さん

3月23日、(財)日本さくらの会から、内谷桐目木共同山組合に桜の苗木75本が寄贈されました。

寄贈された桜の苗木は、組合員により一本、一本丁寧に植樹されました。

桜の苗木の植樹により桜の名所づくりや里山の環境保全を目指しています。